

自由民主党豊橋市議団
豊田一雄市政レポート

2015年秋 第24号
豊かさを未来へ!
<http://toyo.pbeins.net/>

きずな



発行:自由民主党豊橋市議団

連絡先:豊田一雄 豊橋市多米西町三丁目2-10 TEL 64-6147 FAX 64-1401 Email g-toyoda@tees.jp

～そうだったのか豊橋市政～ 市政懇談会のお知らせ

- ・平成27年11月28日(土)
午後5時～6時半頃
- ・東陽地区市民館



豊橋市議会議員
豊田一雄

皆様との情報交換の機会として、上記のように市政懇談会を行います。是非お気軽にご参加下さい。

バイオマス資源利活用施設の建設着工

～下水汚泥や生ごみ等からエネルギーを生み出す～



「完成予想図」

神野新田町にある豊橋市公共下水道中島処理場内で、10月1日からバイオマス資源利活用施設の建設工事が始まりました。この施設は、これまで乾燥して肥料にしていた下水道汚泥や焼却処理していた生ごみ、し尿・浄化槽汚泥などを、メタン発酵させバイオガスを取り出しガス発電を行うためのもの。工事は2年かけて行われ、平成29年10月からの稼働を目指します。

建設される主な施設は、受入れ前処理棟、汚泥棟、メタン発酵槽(2基)、ガスホルダ(1基)の他に、太陽光発電設備(1.995メガワット)。

ガス発電によりつくられた電力は電力会社に売却することとしており、年間の販売電力量は

680万KWhとする計画です。また、メタン発酵後の汚泥についても、炭化させ燃料とすることでエネルギーとして活用していきます。

この施設の建設と運営はPFI方式という民間委託により行われます。設計・建設にかかる費用は約97.5億円、完成後20年間の維持管理・運営に要する費用は約50.3億円の契約となっています。

現在、家庭から出る生ごみは「もやすごみ」として持ち出されていますが、この施設の稼働が始まる平成29年度には、生ごみ専用の指定ごみ袋でごみステーションに出していただく形になる予定です。

— 豊田一雄の主な議会発言 —

6月議会一般質問

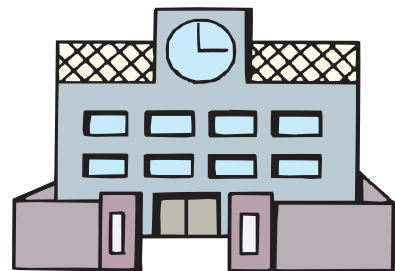
ユネスコスクール数日本一の都市として目指すものについて

ユネスコスクールとは、ESD教育(持続可能な発展のための教育)を継続的にやっていることが、国連の専門機関であるユネスコに認められた学校のことを言います。豊橋市では一昨年から市内小中学校のユネスコスクールへの加盟を進め、現在では、市立の全小中学校と豊橋中央高等学校そして県立豊橋聾学校の計76校がユネスコスクールとして認められています。

この数は日本一であり、第2位の金沢市の47校を大きく上回っています。このことの成果を確実にあげていくために、何を目標として取り組んで行くのかについて質問しました。

答弁では、「特色ある学校づくり」をより一

層深化拡充させることをねらいとしたこと、今後、子どもたちによる実践発表会やパネルディスカッション、さらには、本市のESD活動の成果発表と今後の展望を考える研究大会の開催など、全国に発信していくことも検討していくとの考えが示されました。



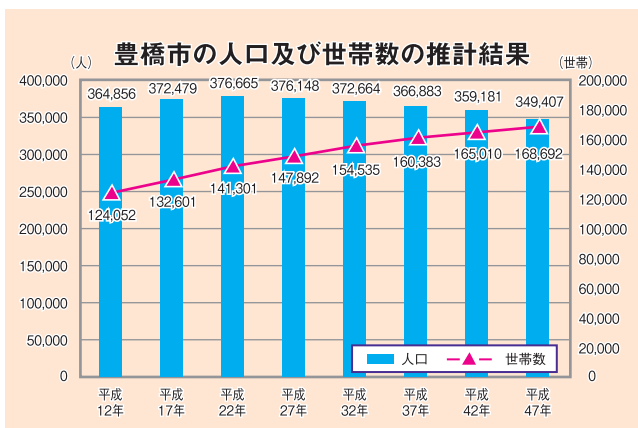
近年の人口動態の分析と対応について

豊橋市の近年の人口は既に減少を始めていますが、人が生まれたり亡くなったりすることによる自然動態ではわずかに増加であるものの、転入や転出などの社会動態がマイナスであることがその要因となっています。そこでその要因

の分析と対応について質問しました。

答弁では、平成20年度までは本市の人口の社会動態はプラスで推移してきたものの、平成21年のリーマンショックで若い世代の転出増によりマイナスに転じ、依然として回復していない状況にあること、人口減少の初期段階にある今こそ、機を逸することなくスピード感をもって対策に取り組まなければならないと考えていることなどが示されました。

この質問の中では、若い世代の転出超過が出生数のマイナスをもたらす可能性が高いこと、人口減少が始まるとサービス業などが縮小し働く場が減り一層の人口減少をもたらすこと、人口減少による歳入減少が市の財政に深刻な影響を及ぼすことなどを指摘しました。



校区市民館のコミュニティセンター機能の充実について

第五次豊橋市総合計画では、市民協働の推進のために「校区市民館を自治会活動をはじめとした様々な地域コミュニティ活動の拠点施設(コミュニティセンター)と位置づけ、その機能の充実に取り組んでいます」と記しています。そこでこの取り組みの課題と今後の対応の方向性について質問しました。



答弁では、校区市民館は、地域コミュニティの交流・活動の拠点として大きな役割を担っていると考えていること、また、既にフェイスブックなどで情報発信に取り組んでいる校区の方や大学、NPO等とも連携し、モデル地域での実施、検証を通して、段階的に全市への第二の回覧板としてICTの活用に取り組んでいきたいとのことでした。



東三河広域連合 8 月議会一般質問

8月10日、東三河広域連合発足後初めてとなる定例議会が行われました。「広域連合強化充実に向けて目指す方向性について」と題する一般質問を行い、主に以下の点について訴えました。

- 広域連携事業の本格化に向けて、その検討を行う有識者を含めた会議体の設置を急がなければならない。
- 広域連合の成長を推進する体制として、共同処理事務、広域連携事業、権限移譲事務などにつき、それぞれの執行責任を担う仕組みとして担当委員制の導入が必要。
- 地域住民に広域連合事業をどのような方向でどんなスケジュールで進めていこうとしているのかを示すため、分野別のビジョンや計画を策定し公開していくことが必要。
- 湖西市は東三河とは密接な関係を持つ重要な

存在であり、今後、東三河広域連合成長に向けて湖西市との連携のあり方を考えていくことが大切。

- 東三河各地の様々な資源を有効活用していくために、東三河のグランドデザインあるいは東三河広域連合の総合計画などをつくることを考えるべき。
- 東三河広域連合にも「地域住民の視点にたった行政執行」「わかりやすく透明性の高い行政運営の実現」が求められるところであり、行政評価とその公表の仕組みが必要。

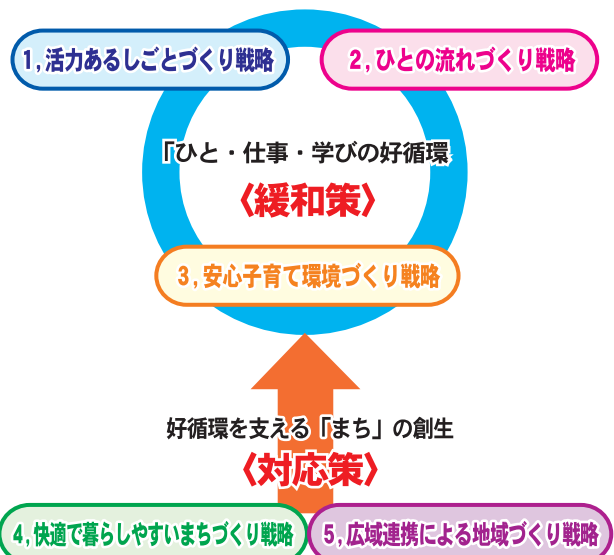


7 月地方創生等計画策定調査特別委員会

7月23日、本年度設置された地方創生等計画策定調査特別委員会が開催され、豊橋市人口ビジョン(案)、まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子(案)、第5次豊橋市総合計画後期基本計画骨子等が示されました。これらに関する質疑を通して、主に以下の点について指摘しました。

- 人口ビジョンは高い目標を掲げることで、市が行わなければならない事業が増え国からの交付金を受ける可能性も高まる。民間事業者の事業意欲が高まることも期待できる。
- 2060年に人口減少した中で自立的な行政運営が可能となるか、その裏付けとなる財政のシミュレーションを行うべきである。
- 2060年においても人口が減少し続けるビジョ

ンを作ることは将来の豊橋市民への責任を果たしていることにならない。



8 月 環 境 経 済 委 員 会

平成23年度からスタートした現在の産業戦略プランは平成27年度に終了します。8月26日の環境経済委員会では、28年度からの新しい産業戦略プラン作成に向けて、産業戦略プラン進捗

状況報告書と新しい産業戦略プラン骨子が示されました。この中で示された三つの基本方針について、企業の地方拠点化受入れ推進とか、起業支援にも力を注ぐべきなどの指摘をしました。

指 標 名	平成23年度実績	平成27年度目標	達成状況
市内総生産	1兆4,197億円 (平成20年度)	1兆5,500億円超	1兆3,264億円 (平成24年度)
農業産出額	474億円 (平成18年)	480億円超	475億円 (平成25年度推計値)
製造品出荷額等 (従業員4人以上の事業所)	1兆903億円 (平成21年)	1兆4,500億円超	1兆1,267億円 (平成25年度)
年間商品販売額	1兆2,424億円 (H19年商業統計調査)	1兆2,500億円超	9,758億円 (H24年経済センサス活動調査)

現在の産業戦略プラン目標指標の達成状況

多 米 の 地 域 情 報

◇校区自治会フェイスブックが第二の回覧板に
昨年7月から多米校区自治会ではインターネットのフェイスブックによる情報発信を始めており、第二の回覧板に育ちつつあります。校区自治会のフェイスブック委員会が行っているもので、自治会の行うイベントばかりでなく地域内の様々な団体の活動の予告案内や実施した時の写真などが、週に2回前後の頻度で掲載されています。先日の朝倉川にアユが戻ったという情報には2,500人近くのアクセスがありました。

フェイスブックによる校区自治会の情報発信は全国でも稀な先進的取組です。下記のアドレスでご覧下さい。

<https://www.facebook.com/tamekouku>



豊橋市議会会派

自由民主党豊橋市議団だより

近年、豊橋市議会では保守系会派が二つに分かれていましたが、今年5月1日に合流し、自由民主党豊橋市議団となりました。4月に行われた市議会議員選挙後、市議会議員36名中の21名(1名は8月末に入団)が所属する最大会派となっています。5月15日に行われた議長選挙では、当会派から古関充宏議長、田中敏一

副議長が選ばれました。

会派執行部は団長に藤原孝夫議員、副団長に坂柳泰光議員、政調会長に前田浩伸議員となっています。

9月に行われた決算特別委員会では豊田一雄が委員長を勤めました。